

教師用 指導案

1. テーマ・授業名

テーマ1 パラリンピックの価値

授 業 4 「公平」について考えてみよう！

パラリンピックの価値については、1-2、1-3のうち1つと1-4を合わせて2つの授業で完結する。1-2、1-3については、ともに「勇気」「強い意志」「インスピレーション」について学習するため、学校の状況に合わせて1つを選択する。

1-2「勇気」「強い意志」「インスピレーション」について考えてみよう！（香西宏昭選手編）

1-3「勇気」「強い意志」「インスピレーション」について考えてみよう！（村岡桃佳選手編）

1-4「公平」について考えてみよう！

2. 授業の目標

- ・障害がある人もない人も一緒にスポーツを楽しむことができるように、どのような工夫ができるかを考えることで、パラリンピックを象徴する価値（「勇気」「強い意志」「公平」「インスピレーション」）のうち、特に「公平」の概念、または条件について理解する。
- ・上記を通して、実生活の中で、公平について考慮した言動ができるようになる。

3. 本時の位置づけ

- ・総合的な学習の時間での活用。
- ・中学校では、社会（公民）の「基本的人権」、道徳の「他者の理解」「共生社会」などの単元における事例学習として活用。
- ・高等学校では現代社会、政治・経済での「基本的人権」「社会保障」などの単元における事例学習として活用。
- ・保健体育のカリキュラムに盛りこむことも可能だが、その際、評価の観点を新たに設ける必要がある。
※その他、学級活動や学年集会などの時間を活用してもよい。

4. 指導の留意点、工夫点

- ・個々の障害への対応を工夫する場面の事例や、障害がある人もない人も一緒にスポーツをする場面を知ることを通して、公平について深い考えを持てるようにする。
- ・できないことではなく、できることに注目させることで、様々な工夫で公平にスポーツを楽しむことができることに気づかせる。
- ・いかに公平であるかについては、明確な答えがあるのではないということ、また、第三者が勝手に判断するのではなく、相手の立場になって状況をよくとらえ、当事者の意見を聞いた上で個々に判断していくことが大切であることを感じさせたい。
- ・固定観念にとらわれず状況に応じて柔軟に考えたり、不利な立場にある人に配慮しながらも、逆に他の人々が不利にならないように、様々な視点からいちばんよい方法を考える態度を評価したい。



主体的に対話的な学習を目指すために、Think Pair Share の活動を取り入れています。

T Think…一人で考える。

P Pair…隣の人と意見交換する。

S Share…発表を通してクラスやグループのみんなと考えを共有する。

5. 準備物

- ・授業用シート (1-4)
- ・教師用授業ガイド (1-4)
- ・生徒用ワークシート (1-4)

〈展開案〉※【 】内は経過時間

時間	学習活動 ○生徒の活動 (引き出したい生徒の声)	指導上の留意点・配慮事項 ○教師の活動 (声かけ例)	準備物／教師参照物
導入 (8分) 【8分】	<p>TIP 背泳ぎのスタートについて考えよう。</p> <p>○クイズに答える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんな違う形でスタートする。 ・何か道具を使ってスタートする。 ・誰かに手伝ってもらってスタートする。 	<p>○TPSの説明をする。</p> <p>○背泳ぎスタートの写真を見せて、イメージできない生徒がいたら簡単に説明する。</p> <p>○発問「3人が背泳ぎの同じレースに出場する。どうやってスタートするかな？」 ※導入なので詳しい解説はせずに、生徒に自由に答えさせる。</p> <p>○数名を指名して自分の考えを発表させる。</p> <p>○授業シートを使って答えを確認する。</p>	<p>・授業用シート (1-4)</p>

時間	学習活動 ○生徒の活動 (引き出したい生徒の声)	指導上の留意点・配慮事項 ○教師の活動 (声かけ例)	準備物／教師参照物
展開① (12分) 【20分】	<p>TIS <small>はらいさひるな</small> 原市紘奈さんの事例から「公平なルール」について考えよう。</p> <p>○原市さんの作文を読んでも、ドッジボールが楽しかった理由を考えて、ワークシートに記入する。</p> <p>○自分の考えをクラスで共有する。</p> <p>・みんなと同じルールにしたから。</p> <p>○公平なルールづくりに必要な要件を理解する。</p>	<p>〈発問例〉 原市さんが楽しいと感じたのは、どのようなルールがあったからだろうか？</p> <p>※クラスメイトが考えた特別ルールと原市さんの考えの違いに気付かせる。</p> <p>・特別ルール →車いすなのでボールを当てない方が、原市さんは楽しいのではないか。</p> <p>・原市さんの願考え →当てられないとドッジボールではない。</p> <p>※特別ルールをつくろうとしたことも、ある男の子が「みんなと同じルールでやろう」と提案したことも、原市さんのことを思っている話であることに留意する。</p> <p>○ワークシートに記入させた後、数名に考えを発表させる。</p> <p>○発表の後、これまでのまとめとして、公平なルールづくりに必要な要件を授業シートを使って確認する。</p> <p>・本質を損なうことをしない。 ・不利な部分のみを取り除く。 ・ルールづくりに当事者が参画する。</p> <p>※「公平」を考えるには、状況に応じて相手の立場を考え、個々に判断していくことが大切であることを伝え、展開②へ進む。</p>	<p>・授業用シート (1-4) ・生徒用ワークシート (1-4)</p>
展開② (20分) 【40分】 ケース① シート記入5分 発表5分	<p>TIS まちでの「公平」を考えてみよう。</p> <p>○エレベーターのイラスト(ケース①)をもとに、自分ならどうするかを考えて、ワークシートに記入して発表する。</p> <p>・車いすの人を優先して、自分たちは降りる。 ・自分たちは奥につめて、車いすの人を乗せてあげる。</p>	<p>○エレベーターのイラスト(ケース①)を見せて、その場に居合わせたらどうするかを考えさせる。</p> <p>※3人が奥につめれば、車いすが入るスペースはある状態であることを解説してもよい。</p> <p>○グループで話し合わせ、代表を指名して考えを発表させる。</p>	<p>・授業用シート (1-4) ・生徒用ワークシート (1-4)</p>

時間	学習活動 ○生徒の活動 (引き出したい生徒の声)	指導上の留意点・配慮事項 ○教師の活動 (声かけ例)	準備物／教師参照物
ケース② シート記入5分 発表5分	<p>○エレベーターのイラスト(ケース②)をもとに、自分ならどうするかを考えて、ワークシートに記入して発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車いすの人に友達は松葉づえを使っていることを説明して、そのまま乗っている。 ・周りの人に「降りて車いすの方を乗せませんか」と言って3人が降りることで、車いすが入れるスペースをつくる。 	<p>○エレベーターのイラスト(自分たち3人の他にも多くの人に乗っていて、車いすが入るスペースがない)を見せて、その場に居合わせたらどうするかを考えさせる。</p> <p>※車いすの人は、エレベーター以外には移動手段がないことを再確認させる。</p> <p>※ケース①②について正解はないが、状況に応じて考えさせることが本時のねらいの1つである。</p> <p>○グループ内で意見交換した後、代表を指名して考えを発表させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業用シート(1-4) ・生徒用ワークシート(1-4)
まとめ (10分) [50分]	<p>T</p> <ul style="list-style-type: none"> ○障害者権利条約について知る。 ○社会における「公平」はパラリンピックの価値「公平」と通じるものがあることに気付く。 ○パラリンピックの価値の意味を確認する。 ○感想をワークシートに記入する。 	<p>まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○障害者権利条約の概要を説明する。 ※展開①②で学んだことと同様に、社会での公平は、状況に応じて相手の立場を考え、個々に判断して行動していくことが大切であり、それが合理的配慮であることを伝える。 ○公平な社会を実現させるためには、「同じ条件の人は同じように扱われるが、条件が違えば、違うように扱われる」ことが必要であり、「一人ひとりの違いを理解して工夫する」ことが大切であることを理解する。 ※特に「公平」についてはしっかり確認できるようにする。 ○感想を書かせる(宿題にしてもよい)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業用シート(1-4) ・生徒用ワークシート(1-4)